

LAPDISC ラップディスク®

承認番号：21000BZZ00465000



適用

気腹法による腹腔鏡下手術における腹壁の小切開創に固定するトラカールとして使用します。

特長

- ラップディスクは多種多様のタイプがあり、タイプにより最小1.5cmの皮切から最大8cmの皮切に対応します。
- 腹壁に密着して気腹ガスのリークを防止します。
- アイリスバルブは完全に閉じることができますので、再気腹が可能です。
- アイリスバルブの絞りは大きさが無段階に調節でき、いろいろな器具を挿入した状態で、気腹を維持することが可能です。

black®

一般的名称：トロカール装着用カフ クラス：2 管理医療機器

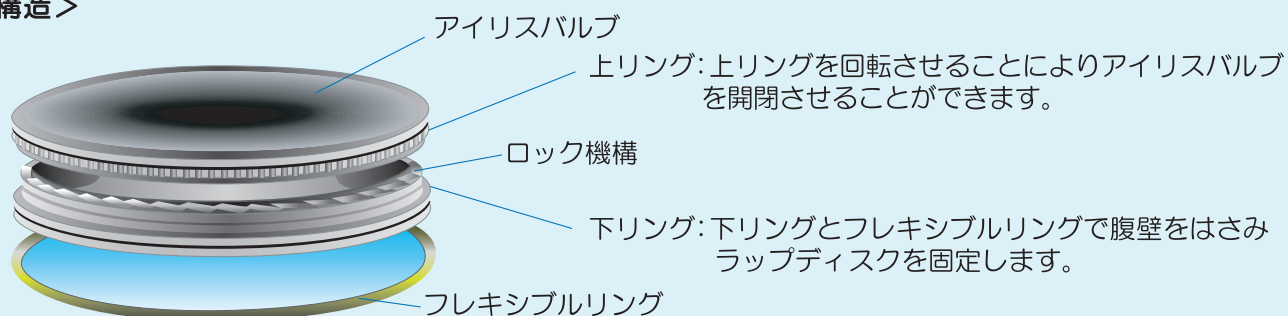
心のかよう医療器ハッコー

本製品は、一回限りで再度のご使用は行わないでください。
製品の仕様・外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

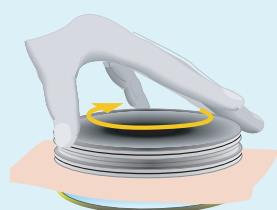
ラップディスク® LAPDISC

構造とアイリスバルブの開閉

<構造>

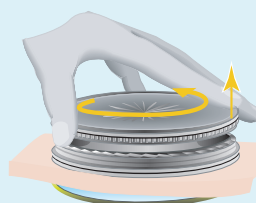


アイリスバルブの閉じ方



- ・左図のように時計方向に「上リング」を回転させてください。約2/3回転で全閉します。
- ・全閉後、反時計方向にわずか回転させ上下リングを確実にロックさせる。

アイリスバルブの開け方



- ・「上リング」を時計方向にわずかに回転させ、ロック機構を解除する。左図のように「上リング」を少し持ち上げた状態で、反時計回りに静かに回転させてアイリスバルブを開ける。

仕様

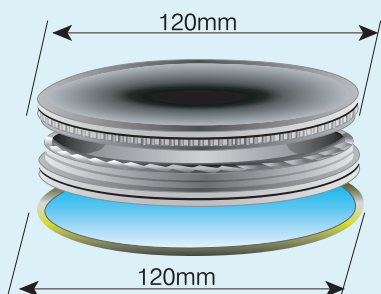
タイプ	リングサイズ (上リング×下リング)	包装形態
レギュラー	Φ120×Φ120mm	1箱1セット入 1セット毎ピールオープン包装 EOG滅菌済
セミロング	Φ120×Φ120mm×40mm	
100mm	Φ120×Φ100mm	
セミロング100mm	Φ120×Φ100mm×40mm	
ミニ	Φ70×Φ70mm	
ミニ50	Φ70×Φ50mm	
ミニ40	Φ70×Φ40mm	
ミニセミロング	Φ70×Φ70mm×40mm	

本カタログは、製品の紹介を目的として作成されています。
ご使用になる場合には、製品に添付されている医療機器添付文書を必ずお読みください。

<レギュラー・セミロングタイプ>

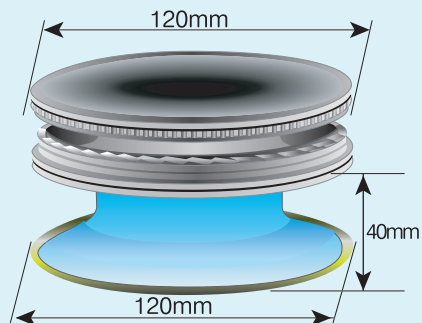
レギュラータイプ

サイズ：120×120mm
製品コード：29150010



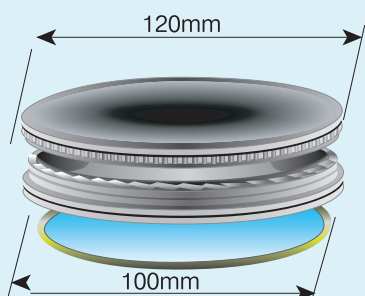
セミロングタイプ

サイズ：120×120×40mm
製品コード：29151110



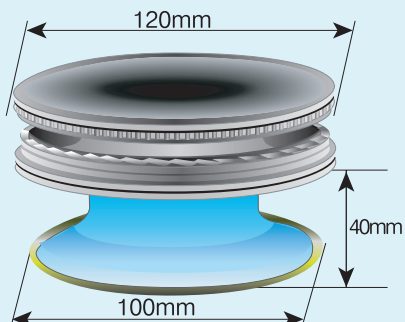
100mmタイプ

サイズ：120×100mm
製品コード：29150020



セミロング100mmタイプ

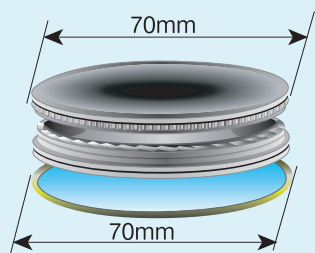
サイズ：120×100×40mm
製品コード：29151120



<ミニタイプ>

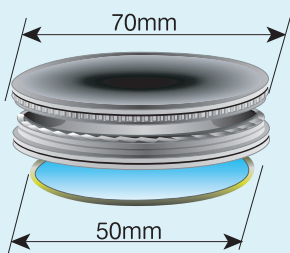
ミニタイプ

サイズ：70×70mm
製品コード：29150050



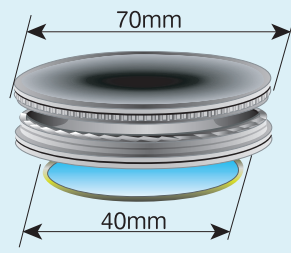
ミニ50タイプ

サイズ：70×50mm
製品コード：29150070



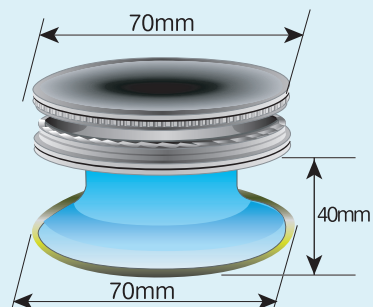
ミニ40タイプ

サイズ：70×40mm
製品コード：29150080



ミニセミロングタイプ

サイズ：70×70×40mm
製品コード：29151130



腹壁の厚さと皮切および切開創の大きさ目安

タイプ	腹壁の厚さ	皮切	切開創
レギュラー	5cm以下	5cm～8cm	6cm～8cm
セミロング	4cm～8cm	5cm～8cm	6cm～8cm
100mm	5cm以下	3cm～6cm	4cm～6cm
セミロング100mm	4cm～8cm	3cm～6cm	4cm～6cm
ミニ	5cm以下	2cm～4cm	3cm～4cm
ミニ50	5cm以下	1.5cm～3cm	2cm～4cm
ミニ40	5cm以下	1.5cm～3cm	2cm～3.5cm
ミニセミロング	4cm～8cm	2cm～4cm	3cm～4cm

＜装着準備＞

1.フレキシブルリングの一部を反転させアイリスバルブを通して、上に持ち上げる。(図1)

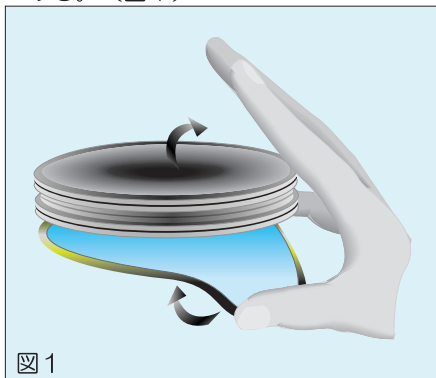


図1

2.フレキシブルリングを上を引き上げます。(図2)

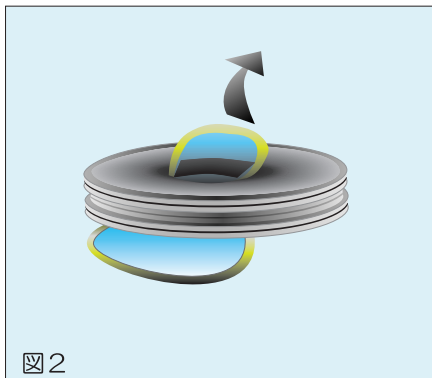


図2

3.フレキシブルリングが斜めになった、ハイヒールのような形する。(図3)
＜装着準備完了＞

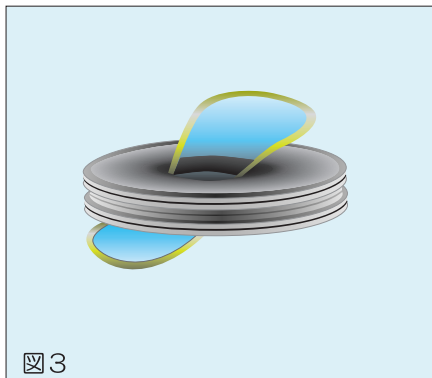


図3

＜装着＞

1.皮膚切開を行う。
フレキシブルリングの先端を切開創に挿入する。
(皮切の大きさは各サイズ一覧参照。)

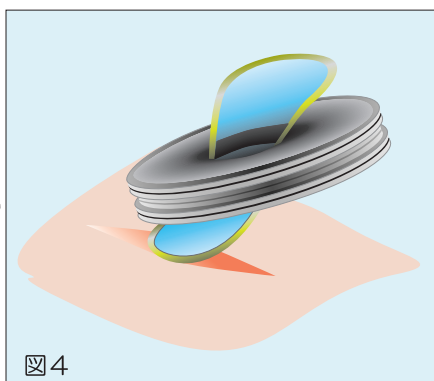


図4

2.フレキシブルリングを腹壁の前側に密着させながら、創内にゆっくり押し広げます。

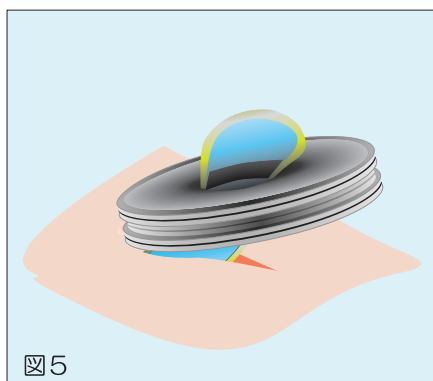


図5

3.フレキシブルリングの後端部を反転させるように創内に挿入します。

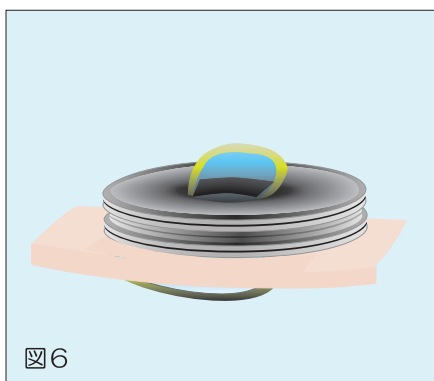


図6

4.内視鏡でフレキシブルリングが前腹壁に密着していることを確認して下さい。

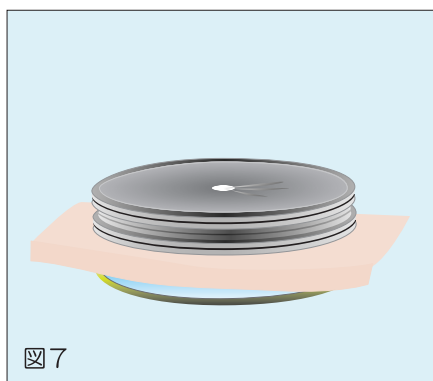


図7

＜取り外し＞

1.開放した状態のアイリスバルブから指先を挿入し、腹壁を固定しているフレキシブルリングをの一部をつかみ、ゆっくり創から取り出す。

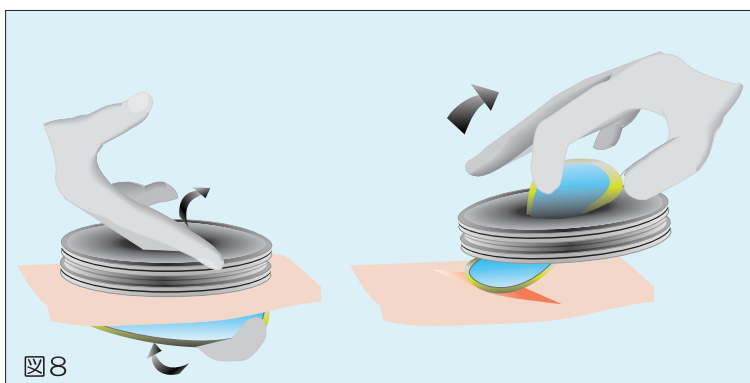


図8